

新潟県長岡地域振興局長賞

税を見直そう

長岡市立栖吉中学校

三年 林 莉々子

中学生になってから税について気になったり、意識して考えたりすることが多くなった気がする。なぜなら、小学生の頃よりも友達と遊んだり、一人で外出したりすることが増え、自分のお小遣いで物を買うことも増えたからだ。それまで、税が存在することぐらいしか知らず、「まだ税は自分に関係ない。まだ考えなくていい。」と思っていた。しかし、これをきっかけにこれから大人に近づくにつれてきつと私たちの生活に大きく関わってくるであろう税について、もっと関心を持ち、学ばなければならぬのではないかと感じた。

だが、いざ税について考えてみようと思っても、たくさん税の種類や難しい言葉などがあり、よく分からなかった。そこで、税を考えるきっかけとなった消費税について考えようと思った。

私は税を意識する前は、買い物をするときに税の分のお金を考えずに代金を計算していた。その方が細かい計算をせずに済むし、代金がきりの良い数字になったからだ。しかし、レジに行き、代金を支払おうとすると、税の分のお金が足されるため、結局細かいお金を払わなければならなかった。だ

から、私は税というと「めんどうくさい」「お金を余計に払わなければならない」などのマイナスなイメージがあった。

そして、以前母もこんな言葉を言っていた。何の税だったかは忘れたが「税が高くて困る」と。やはり、私だけでなく他の人も税にマイナスなイメージを持っているようだった。

だが、税についてずっと考えているうちに疑問が浮かんだ。税は私たちのため、日本のためにあるはずなのに、なぜ私たちは税にマイナスのイメージが多くあるのだろうか、と。

私は税に様々な種類があることは知っているが、それらの税がどこでどのようにして使われているのかは今はよく知らない。そして、「税が役に立っているな」と感じることも少ないように思う。

私はこれが多くの人が税にマイナスなイメージを持つ理由ではないかと感じた。きつと私たちは税を納めることに意識が向いていて、それがどのように使用されるか分からないまま納め続けたり、税が利用されていることが目に見えることが少なかったりしたのだと思う。

だから、私たちは税の行き先をしっかりと理解し、税を使う国や県、市などはどのようにして使用しているかを目に見える形で納税者に分かりやすく伝えていく必要があると思う。そうすることによって、私たちは税の大切さを実感し、嫌々「納税しなければならぬ」という考えから、国や地域のためなら「納税しなければならぬ」という税にプラスのイメージを持つ考えに変わるのではないかと思う。

私はこれからも税についてもっと学び、みんなで税について考えていこうと思った。

